

九九の八の だん

美咲町立柵原西小学校

二年生 長尾 嶺

ぼくは 算数が すきです。一年生の ころから 「九九」という ことばは 知っていて、二年生に なって 九九を ならう ことを 楽しみに して いました。

いよいよ、かけ算の べんきょうが 始まりました。いきなり 九九の べんきょうを すると 思っ て いたけど、そうでは ありませんでした。まずは、かけ算の しくみから べんきょう しました。

そして、本かくてきに 九九の れんしゅうが 始まりました。「九九にんじやしゅぎょう」です。上がり九九、下がり九九、ばらばら九九が 全ぶ 合かくすると シールが もらえます。

まずは、五の だんから 始まりました。五の だんは 五 ずつ ふえて いくので、かんたんでした。その後、二の だん、三の だんと じゅん番に ならいました。七の だんま では じゅんちように 合かくしました。

ところが、八の だんは そうでは ありませんでした。上がり九九は 一回で 合かく、下がり九九は 三回目 で やつ と 合かくしました。そして、ばらばら九九に ちようせん する ときが きました。

「八三二四、八一が八、八七……」
とちゅうで まちがえて しまいました。

「もう一回 れんしゅうして きてね。」
と、先生が 言いました。ぼくは 少し じしんが なかったので、やっぱり だめだったかと 思いました。何回か ちようせんしたけど、なかなか 合かくしませんでした。

「お母さん、いっしょに 八の だんの れんしゅうを しよう。」
と、家で 聞いて もらったり、学校で 休み時間を つかつて 友だちと れんしゅうしたり して、やっと 八の だんが すらすら 言えるようになり ました。

そして、ハの だんの ばらばら九九に ちょうせんすることになりました。れつに ならんで いるときに、

「ああ、きんちようする…。」

と、思わず 言って しまいました。そして、ついに ぼくの 番に なりました。

「先生、ハの だんの ばらばら九九を 聞いてください。」

「八五40、八三24…八九72!。」

「はい、合かく。シール どうぞ。」

ぼくは、心の中 何回も やったあと 言って いました。シールも うれしかったけど、何より 合かくした ことが うれしかったです。家に 帰って お母さんに、

「今日、ハの だん 合かく したで。」

と、言うと お母さんが、

「ついに やったなあ。」

と 言って、二人で ハイタッチを しました。

苦手な ことでも れんしゆうを たくさんすれば、とくいになるんだなど 思いました。九九の ハの だんの おかげで、さいごまで あきらめずに がんばる 力が つきました。